



中濃記者会同時配布
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和6年 6月21日(金) 岐阜県発表資料		
担当所属	担当者	電話番号
森林研究所	渡邊 仁志 和多田 友宏	直通 0575-33-2585 FAX 0575-33-2584

県森林研究所「研究成果発表会」を開催します（参加者募集）

県森林研究所では、健全で豊かな森林づくりと、林業および木材産業の振興を推進するための研究開発に取り組んでいます。

このたび、当所の研究成果を森林・林業関係者をはじめ広く県民の皆様にお伝えする研究成果発表会を下記のとおり開催しますので、参加者を募集いたします。

記

1 開催日時および方法

日時：令和6年7月12日（金）13：15～16：15（12：45より受付開始）

場所：わかくさ・プラザ 多目的ホール（関市若草通2丁目1番地）※別紙1「会場案内図」参照

2 プログラム（発表の内容は別紙2のとおり） ※ 時間は前後する場合があります

13:15～13:20 開会・あいさつ

13:20～13:50 発表1 災害に強い路網整備を支援する地区の開発 主任専門研究員 臼田 寿生

13:50～14:15 発表2 広葉樹の侵入のしやすさを示す取組み 専門研究員 久田 善純

14:15～14:40 発表3 ヒノキ再造林地で部分的に下刈りを省略したら針広混交林になりました

研究員 宇敷 京介

14:40～15:00 休憩

15:00～15:25 発表4 国産黒トリュフの人工栽培を目指した技術開発 主任専門研究員 水谷 和人

15:25～16:15 長野県林業総合センターと岐阜県森林研究所の研究成果の紹介（ポスター発表）

16:15 閉会

3. 定員

150人程度（参加無料）

4. 申し込み方法

所属団体（会社名等）、氏名、電話番号を明記の上、電子メールまたはFAXにより、7月5日（金）までに以下の申し込み先へ送付してください（書式は自由です）。

5. 申し込み・問い合わせ先

岐阜県森林研究所（〒501-3714 美濃市曾代1128-1） 担当：^{わたなべ}渡邊、^{わただ}和多田

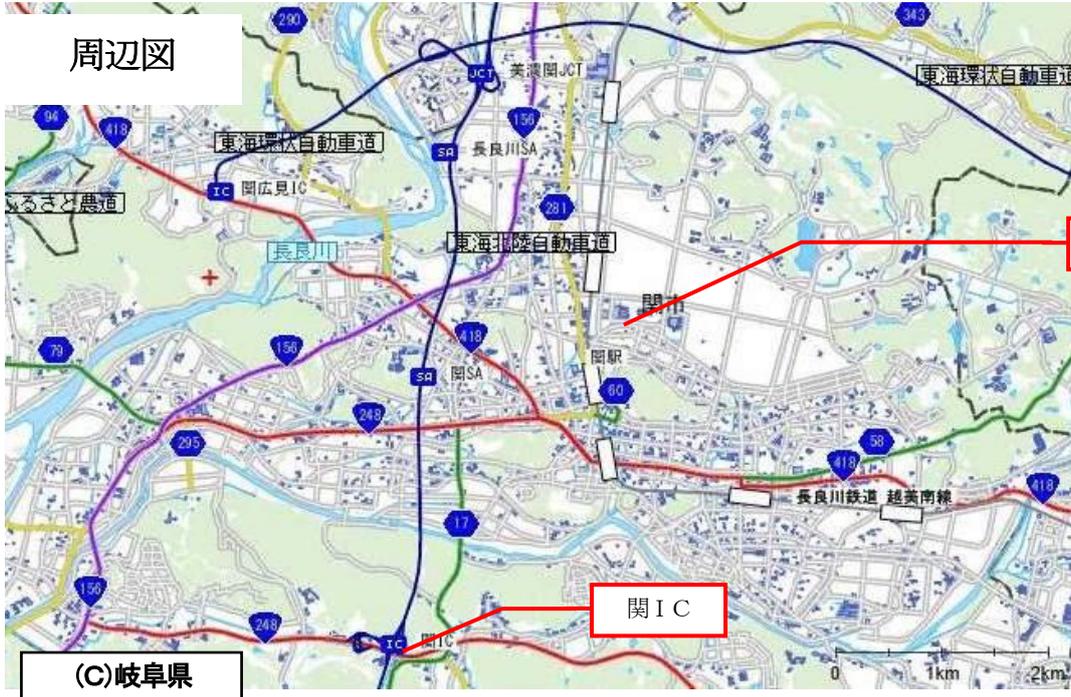
電話：0575-33-2585 FAX：0575-33-2584

電子メール：info@forest.rd.pref.gifu.jp

森林研究所ホームページ (<https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/>) でもご案内しています。

【会場案内図】

別紙1



わかくさ・プラザ

長良川鉄道
関市役所前駅



【交通のご案内】

- ・東海北陸自動車道「関IC」から車で15～20分
- ・長良川鉄道「関市役所前駅」から徒歩10分
- ・岐阜バス 路線バス「わかくさプラザ」バス停 徒歩1分
- ・岐阜バス 高速バス「関市役所・わかくさプラザ」バス停 徒歩1分
- ・関シティバス「わかくさ・プラザ」バス停 徒歩1分
- ・長良川鉄道「関駅」、関シテイターミナルからタクシー5分

○口頭発表

発表1 災害に強い路網整備を支援する地図の開発

森林資源部 主任専門研究員 臼田 寿生

森林の管理と利活用を効率的に行うためには、路網整備が不可欠です。しかし、近年は、気候変動の影響による大雨が増加傾向にあり、森林内の路網における災害発生リスクが高まっているため、気候変動に適応した災害に強い路網整備を推進していく必要があります。そこで、災害に強い路網整備の支援を目的として、路網整備の難易度と土石流災害の危険性がわかりやすい地図を開発しました。

キーワード：路網整備、山地災害、地形、土石流、地図

発表2 広葉樹の侵入のしやすさを示す取組み

森林環境部 専門研究員 久田 善純

針広混交林への誘導など、広葉樹の自然侵入を活かした森林整備を計画する場合、種子供給源となる広葉樹林分が近辺に存在するか事前に確認することが重要です。現在、森林空中写真の画像解析により、広葉樹林の林縁からの距離区分を図示することに取り組んでいますので、試作状況について紹介します。

キーワード：針広混交林、広葉樹、種子供給源、森林空中写真、距離区分図

発表3 ヒノキ再造林地で部分的に下刈りを省略したら針広混交林になりました

森林環境部 研究員 宇敷 京介

針広混交林の誘導技術が求められています。ヒノキと高木性広葉樹が林冠で混交する再造林地の林分構造を調査した結果、ミズメやウダイカンバが集団で帯状に生育している場所は、枝条の集積に伴い、除地になっていたことが分かりました。この事例から、再造林地の下刈りを部分的に省略することにより、針広混交林を誘導できる可能性があります。

キーワード：高木性種、広葉樹、下刈り、除地、針広混交林

発表4 国産黒トリュフの人工栽培を目指した技術開発

森林資源部 主任専門研究員 水谷 和人

高級食材のトリュフは、生きた樹木の根に共生する菌根菌で、マツタケと同様に人工栽培が非常に難しいキノコです。今回、国内に発生する国産の黒トリュフの菌を接種したコナラ苗木を植栽し、7年が経過した令和5年秋に、国内で初めて人工的に国産黒トリュフを発生させることに成功しましたので、その秘訣を紹介します。

キーワード：高級食材、黒トリュフ、菌根菌、人工栽培、成功

○ポスター発表

ヒノキ再造林地の下刈りを省略したら針広混交林になりますか？	主任専門研究員 渡邊 仁志
根鉢を小型化した1年生ヒノキ山行苗の開発	主任研究員 茂木 靖和
ツリーシェルターの構造が苗木の成長に与える影響の違い	主任研究員 片桐 奈々
ツリーシェルターの撤去時期と注意点	主任専門研究員 大橋 章博
バックホウのバケット部による路体締固め時の最適な締固め回数は？	専門研究員 和多田 友宏
シイタケ発生への気温上昇の影響を理解して栽培管理に役立てる	専門研究員 上辻 久敏
ヒノキ心去り正角を使用した接着重ね材の曲げ強度性能	主任研究員 田中 健斗
長野県林業総合センター発表（2題程度）	